

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(地方税務行政のDX等関係)

○登録者情報

湯本 倫也 (ゆもと りんや)

所在地 長野県

組織名・所属 役職 長野県 長野市 市民税課 主査



略歴

平成 28 年 4 月 長野市入庁
令和 2 年 4 月 財政部市民税課 主事
令和 4 年 4 月 現職

○主な取組内容・実績

<課税事務の効率化>

- ・ 令和 2 年 9 月 軽自動車税 (種別割) 業務における RPA 化実施
- ・ 令和 3 年 1 月 軽自動車税 (種別割) 業務における手続きのオンライン化 (税止め及び納税通知書送付先変更) 開始
- ・ 令和 3 年 11 月 法人市民税課税業務における RPA 化を拡大
- ・ 令和 5 年以降 担当外税目 (個人住民税、固定資産税) における業務 BPR の一環としての RPA 化の拡大に従事し、ヒューマンエラー及び作業時間の削減を実現した。

<情報システムの標準化・共通化>

- ・ 令和 6 年以降 システム標準化に伴うデータクレンジング作業を RPA にて実施併せて、税務他課と協力し業務 BPR に取り組んでいる

○その他

- ・ 当市が令和元年東日本台風災害被災により課税事務に携わる職員が一時的に兼務等により減少したことから、想定していた人数がない状況下での課税事務を考える必要がありました。
- ・ システムやツールの導入は目的ではなく手段ですので、行っている作業そのものが必須なのかを検討する必要があると考えます。
- ・ 前職を含め、税・保険料の賦課・算定業務に 9 年間携わった経験から、事務の一連の大きな流れを把握しており、長期的な目線での業務改善・効率化を心掛けています。